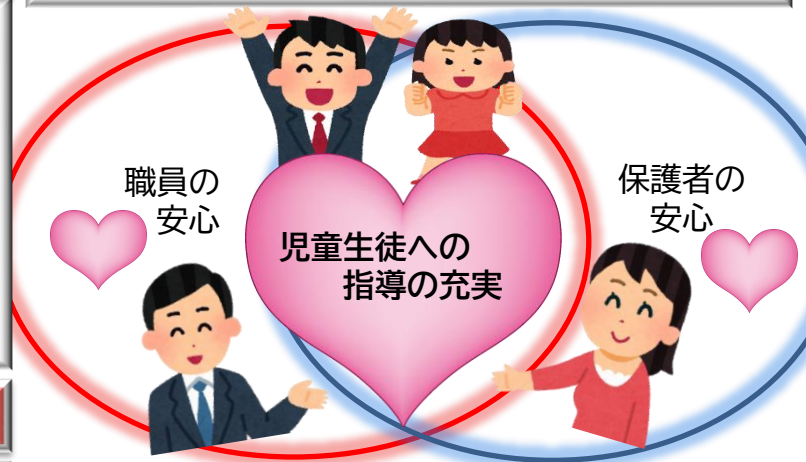


# 茨城県立境特別支援学校

～ 信頼される学校づくり「不祥事0を目指して！」～

## 最上位の目的の合意

- ・一人一人が自律（自分をコントロール）し、お互いの自由を認め合う、人権を尊重する組織をつくると意識する
- ・「人にされて嫌なことは人にしない」を実践し、「誰もが生きやすい世の中づくりに貢献する子どもが育つ学校をつくっている」という自覚と誇りをもつ。



## 人権意識をもった対応

- 子どもへのリスペクトや子どもから学ぶ姿勢、子どもの気持ちや背景を想像することを意識する。
- 一人で抱えずみんなで見ていく意識を高める。
- 子どもにとって、威圧や恐怖を与える一方的な指導にならないように注意する。
- 児童生徒や保護者への適切な言葉遣いの徹底
- 児童生徒や保護者の思いに寄り添った丁寧な相談対応

## 飲酒運転の根絶・安全運転の徹底

- 「飲酒に係る校内ルール」を設定・遵守
- 安全運転、交通事故防止、早期対応のための「事故対応カード」を携行

## 情報流出の防止

- データ送信先のメールアドレス等について管理職がチェックを徹底
- メール送信時、入力アドレスと添付データに不備がないか、職員同士でのダブルチェックを徹底
- 個人情報を含む保護者あて文書については専用の封筒を使用し、授受を記録
- 個人情報取り扱いに係る校内既定を遵守

## 多様な研修体制の充実

- 県教育委員会発行のコンプライアンス情報誌「One IBARAKI」の閲覧や研修動画の視聴
- 学部、学年単位でのコンプライアンス研修を実施
- 学校評議員と連携し、企業でのコンプライアンス研修を校内で活用
- 「不祥事防止のためのチェックリスト」等を活用したセルフチェックの実施

## わいせつ事案の防止

- 「授業中のスマートフォン所持に係る校内ルール」を設定・遵守
- 職員と保護者（児童生徒）間の連絡手段を学校電話（学校携帯電話）に統一
  - \*職員の個人携帯電話は使用しない
- 児童生徒との面談は、複数人の職員で対応
  - \*外から見える状態を確保し、密室状態をつくらない
- 児童生徒の着替えについては、専用の更衣室を使用し、同性の職員が確認
  - \*教室で更衣する場合は、カーテンやパーティション等を活用し、プライバシーを確保
- 特別教室や資料室のカギは職員室・事務室で管理し、利用者を確認

## 風通しの良い職場づくり

- 管理職との多様な面談を実施
- 児童生徒の事故、生徒指導、保護者からの相談等について速やかな情報共有と対応のフィードバック
- ストレスチェックを活用し、職員個々の状況を確認
- メンタルヘルスケアサポート事業を活用した研修の実施
- 自分とみんなが元気で生きやすい、心理的安全性を意識し、対話し合える関係性をつくる意識をもつ。